

世界予選トーナメント派遣選手選考基準

一般社団法人日本肢体不自由者卓球協会

選考にあたり

東京パラリンピックに派遣される選手は、競技団体より日本パラリンピック委員会（以下、JPC）に推薦された候補選手から JPC の承認を得て派遣選手となるものである。

JPC の選手選考基準を以下の通り示す

選手選考基準

国民の期待に応え得る競技力をもつとして競技団体から推薦された候補者で、次の1～3に掲げる全ての条件を満たす者を選考する。但し、開催国枠のある競技は下記の条件を満たす者を選考する。

- (1) 東京2020パラリンピック競技大会の参加資格を満たしている者
- (2) 医学的観点から、日本代表選手として推薦できる者
- (3) メダル獲得または入賞の可能性のある者

(原文まま)

については、JPC の選手選考基準を前提とし以下の基準に則り、強化委員会で審議し、理事会で決定する。

- (1) 派遣選手の前提条件（以下のすべて満たしている者）
 - ① 大陸枠、ランキング枠による出場権を獲得していない者
 - ② 国際クラス分けを完了している者(Confirmed)
 - ③ 東京パラリンピック出場枠獲得期間中のトーナメントクレジットを満たしている者

(2) 選考条件（以下のいずれかを満たしている者）

① 特別NT選手

- ② 2019年度NT選手の中から各クラスの東京パラリンピック出場選手数を世界ランキング（以下、WR）とし、そのWR圏内選手に勝利した者。
（例：出場選手数18名→WR18位以内 WRは対戦時を参考にする。）
同クラスに②に該当する選手が2名以上いる場合、3月時点のWRが上位の者を選ぶこととする。

評価対象期間は、2019年4月から2020年3月までとする。

- ③ 監督推薦1名（2019年度の試合成績や合宿等での状態から評価）

(3) その他

コロナウイルス等やその他何らかの影響により世界予選トーナメントが中止または変更等あった場合は、国際パラリンピック委員会、国際卓球連盟から発表される規程等に則ったうえ、再度協会で協議し判断するものとする。

附則

令和2年2月29日 制定

令和2年10月6日 一部改訂